

2016年度決算の概要

(2016年4月1日～2017年3月31日)

ご説明資料



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

1. 2016年度決算の概況

損益の概要

業績推移(年度、四半期)

経常利益の変化要因

(2015FY→2016FY、2016FY上期→2016FY下期、2016FY3Q→2016FY4Q)

原燃料価格の推移

セグメント別損益、セグメント別損益推移(年度、四半期)

貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

D/Eの推移

設備投資・減価償却費の推移

期末配当金について

2. 2017年度業績予想等

2017FY業績および配当予想

経常利益の変化要因(2016FY→2017FY予想)

3. 参考資料

財務指標の推移

その他のトピックス

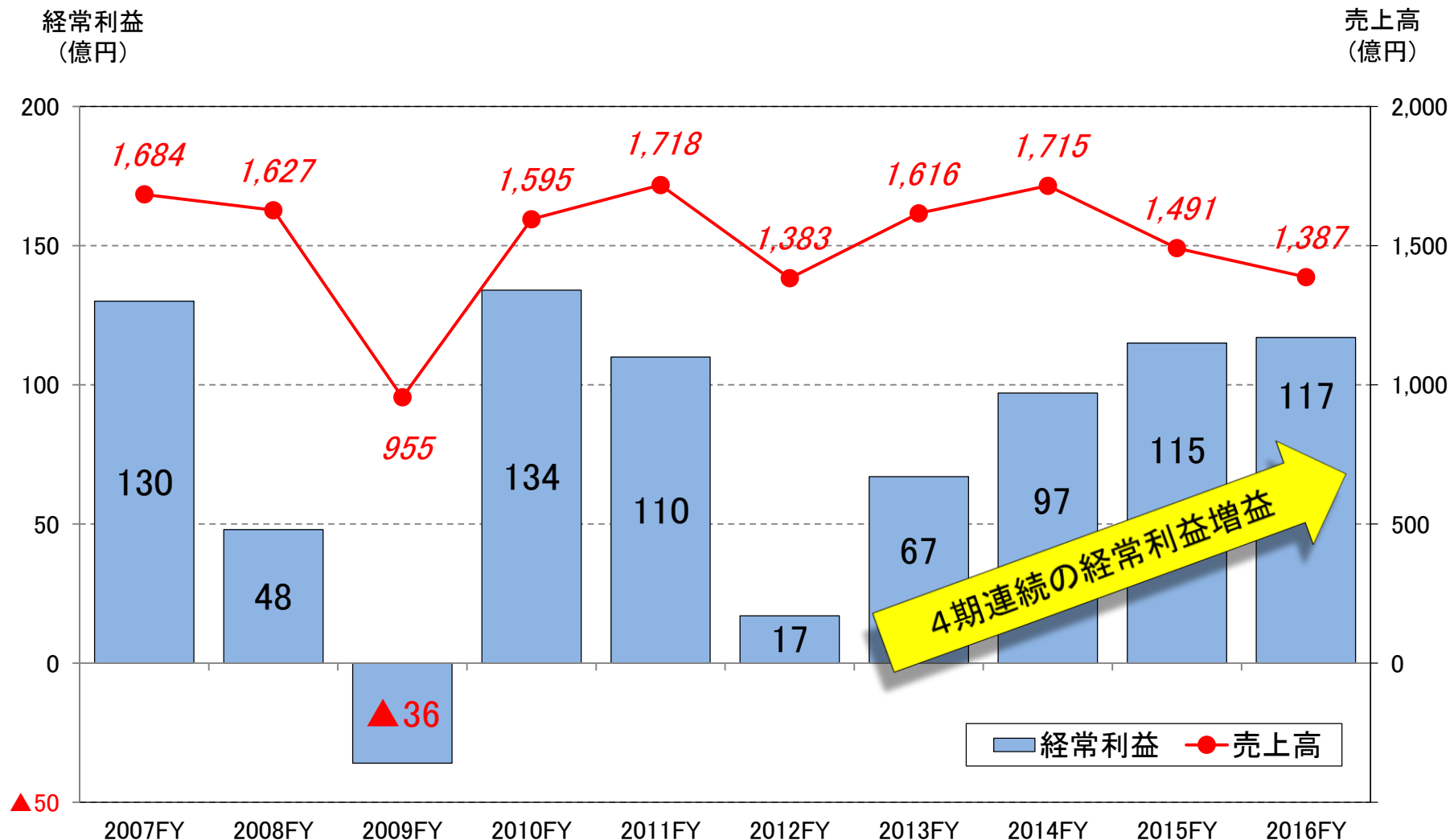
損益の概要

(単位:億円、%)

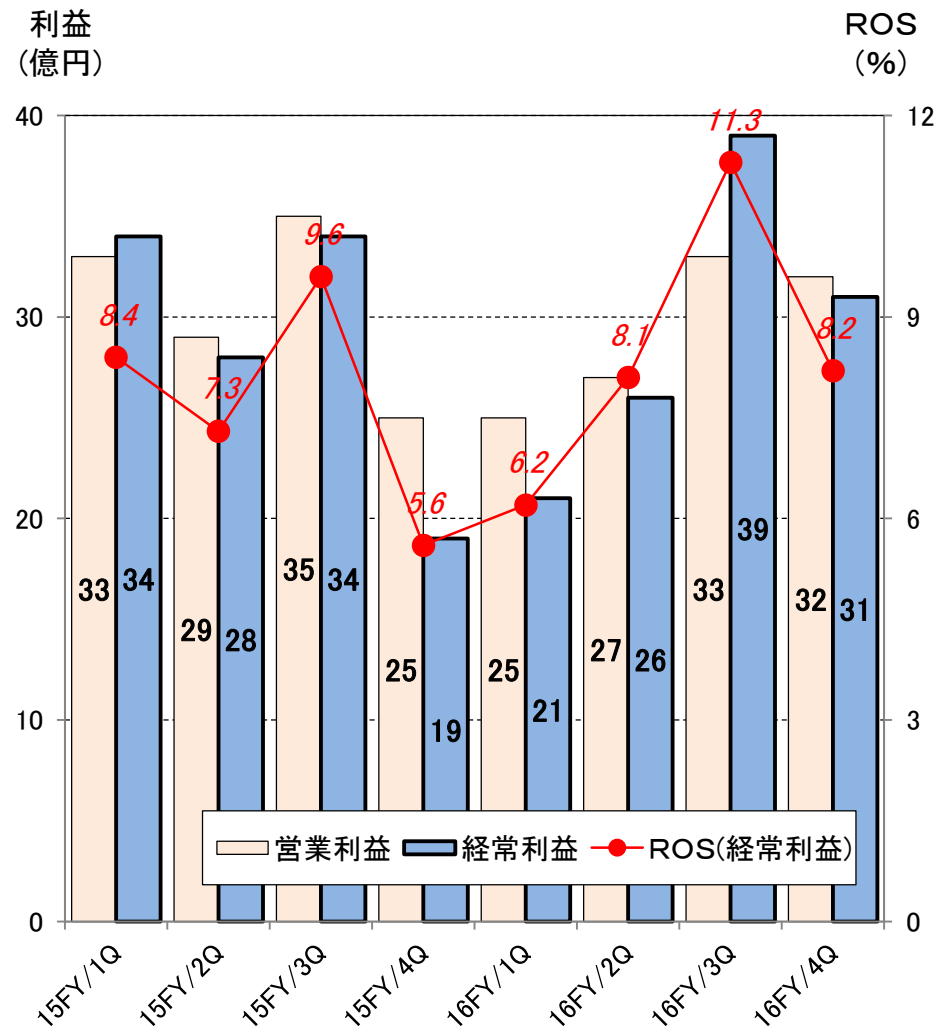
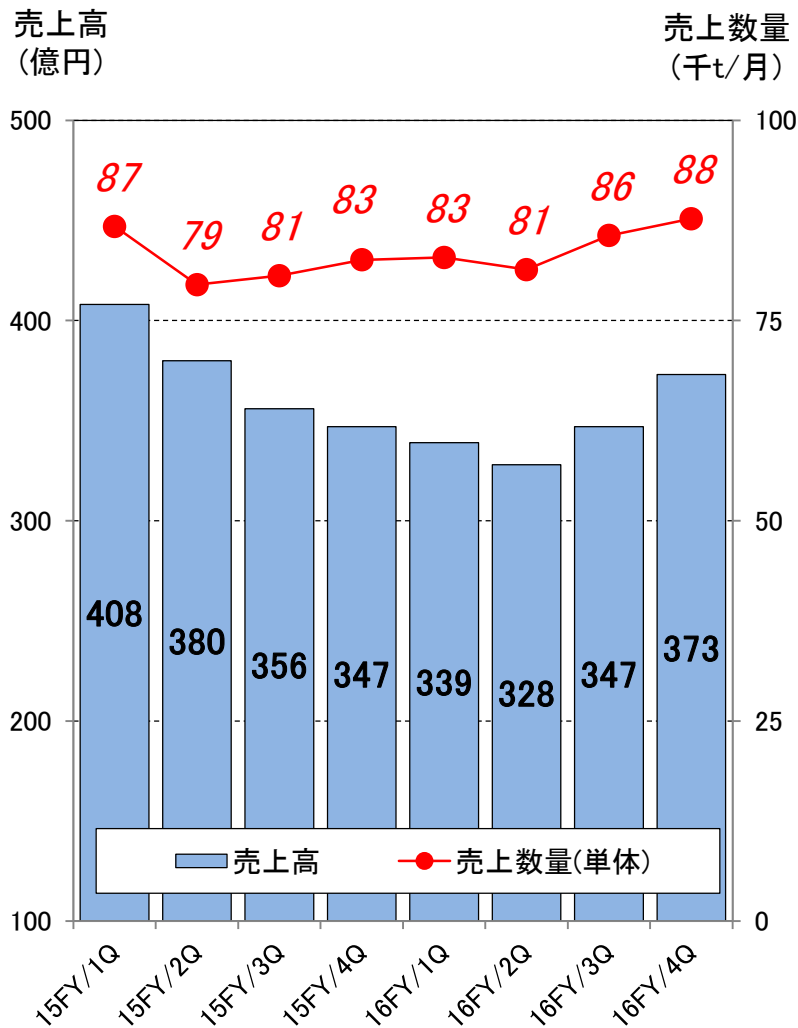
	2016FY (A)		2015FY (B)		対前年度 (A)－(B)		2016FY業績予想 (2016/10/27公表)	
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	増減率	金額	売上高 比率
売上高	1,387	100.0	1,491	100.0	▲105	▲7.0	1,400	100.0
営業利益	117	8.4	122	8.2	▲5	▲4.1	120	8.6
経常利益	117	ROS 8.5	115	ROS 7.7	2	1.7	115	ROS 8.2
当期純利益 ^(注)	78	5.6	74	5.0	4	5.0	76	5.4
ROE(%)	6.6		6.6		+0.0			

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益

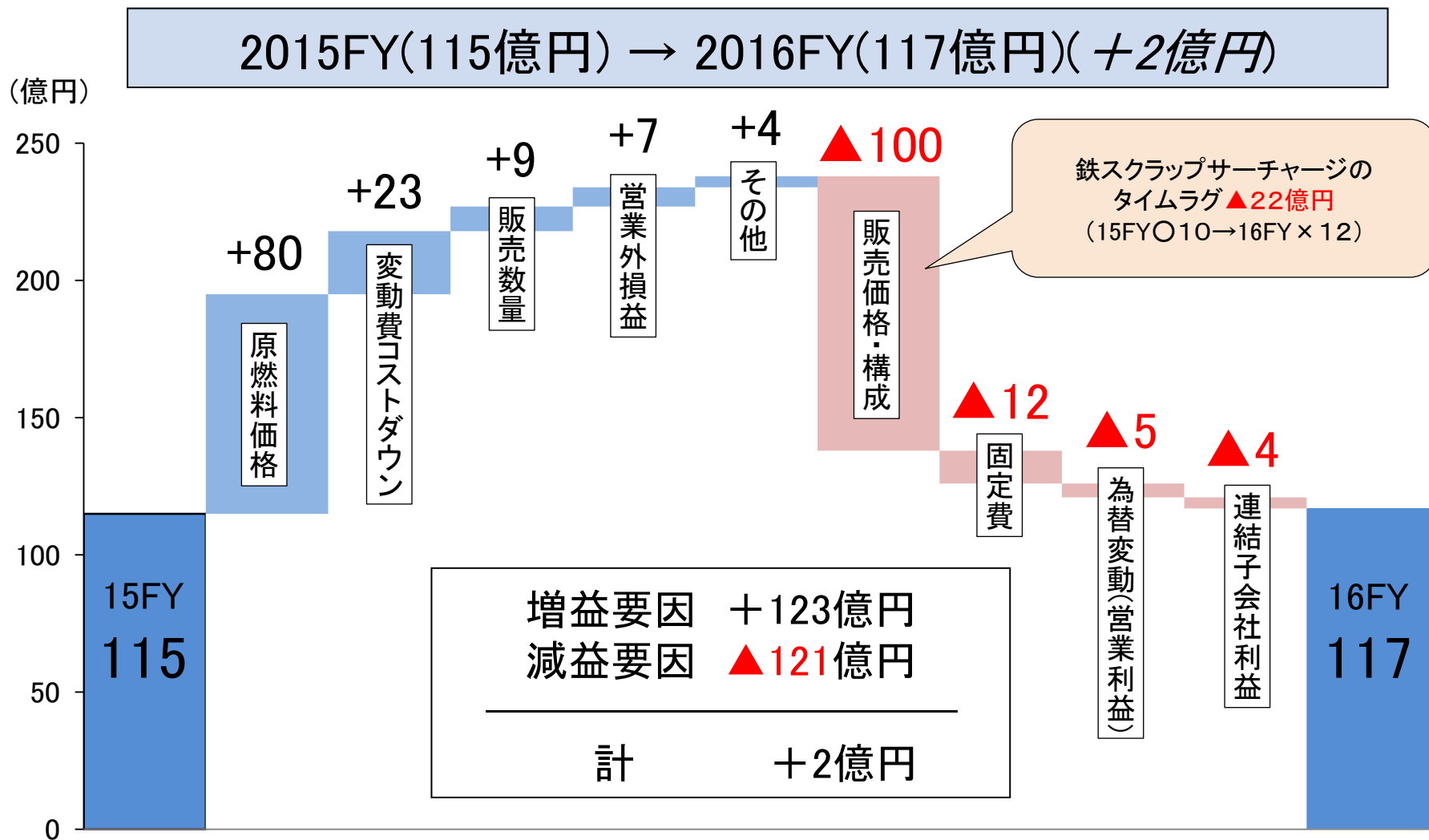
業績推移(年度)



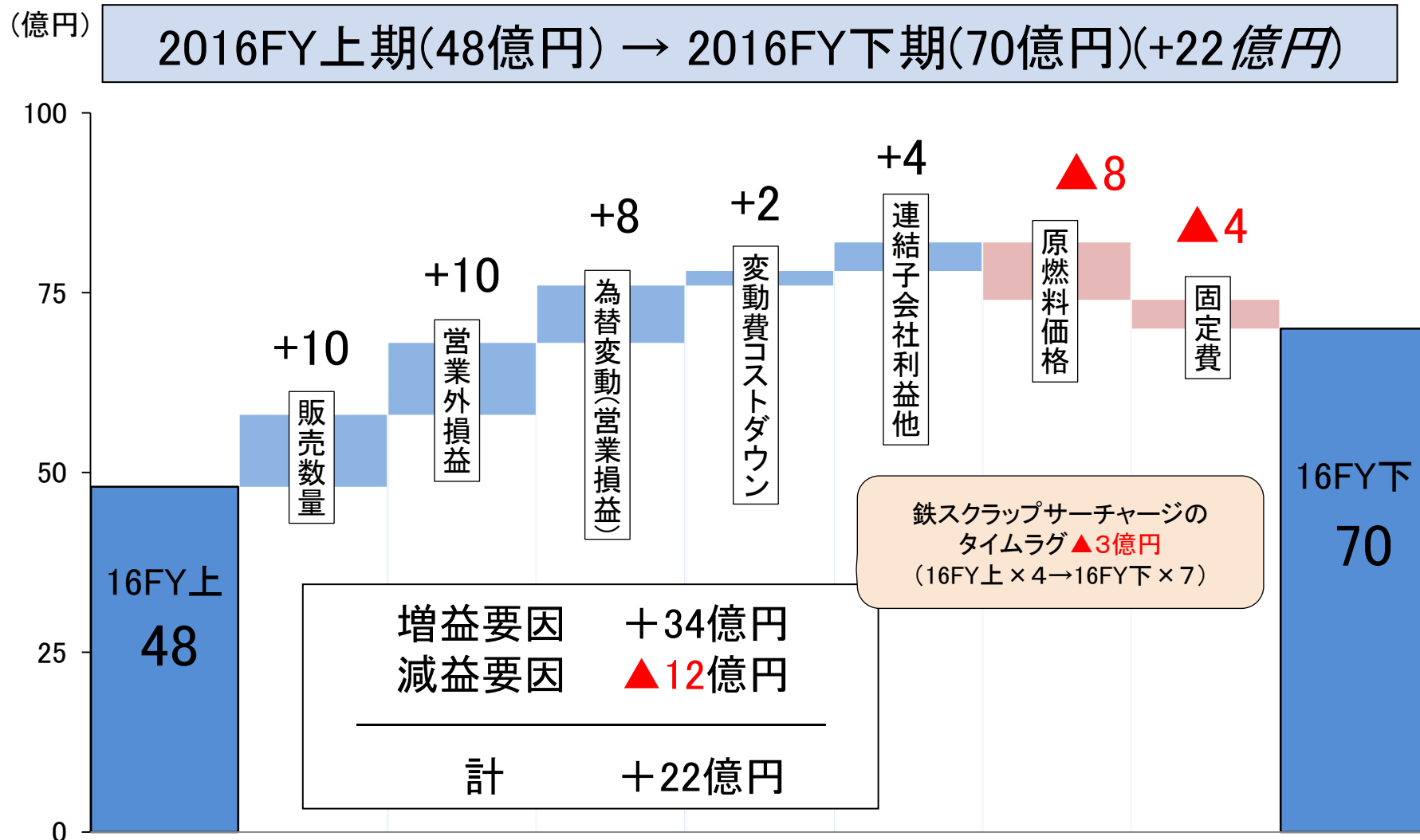
業績推移(四半期)



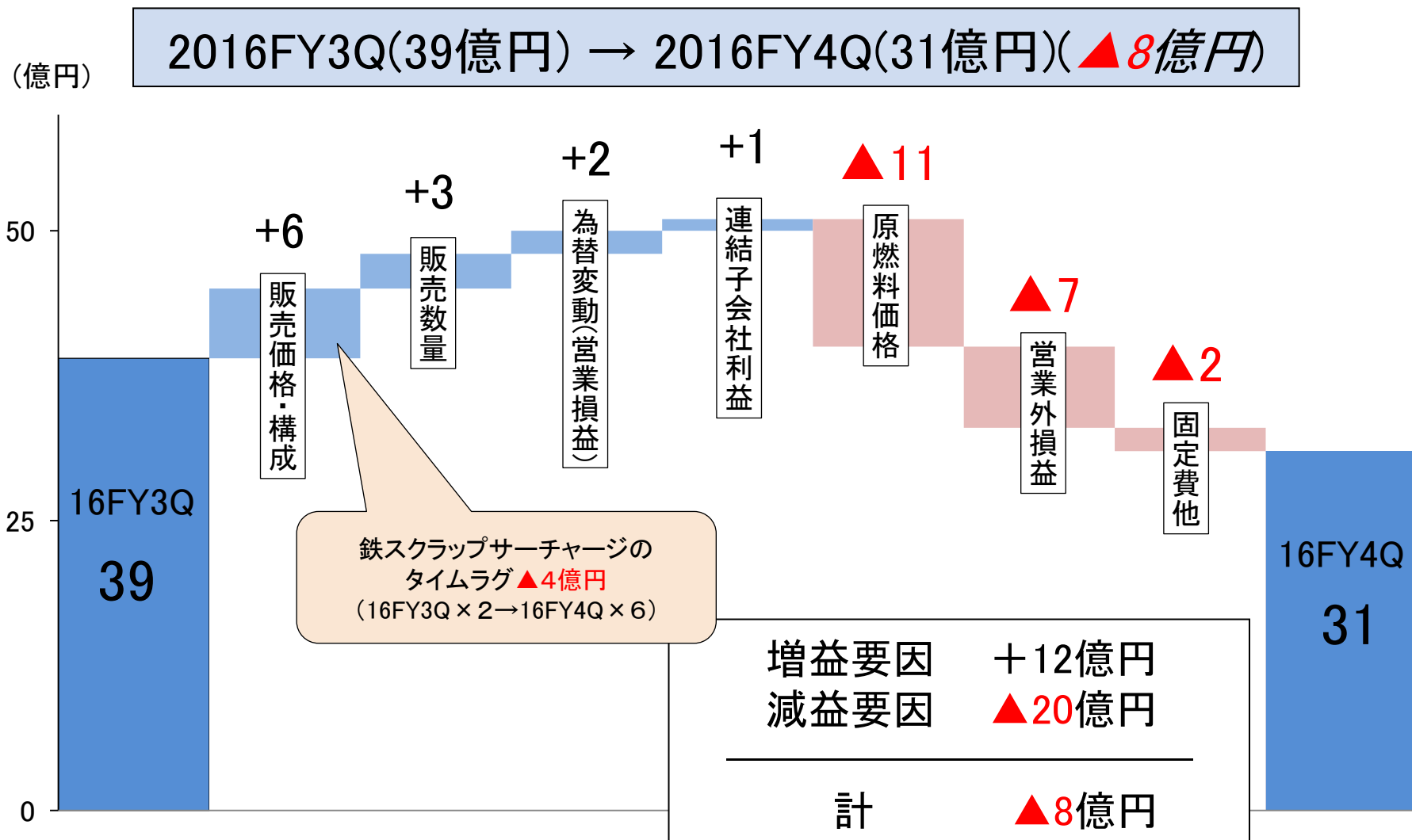
経常利益の変化要因



経常利益の変化要因

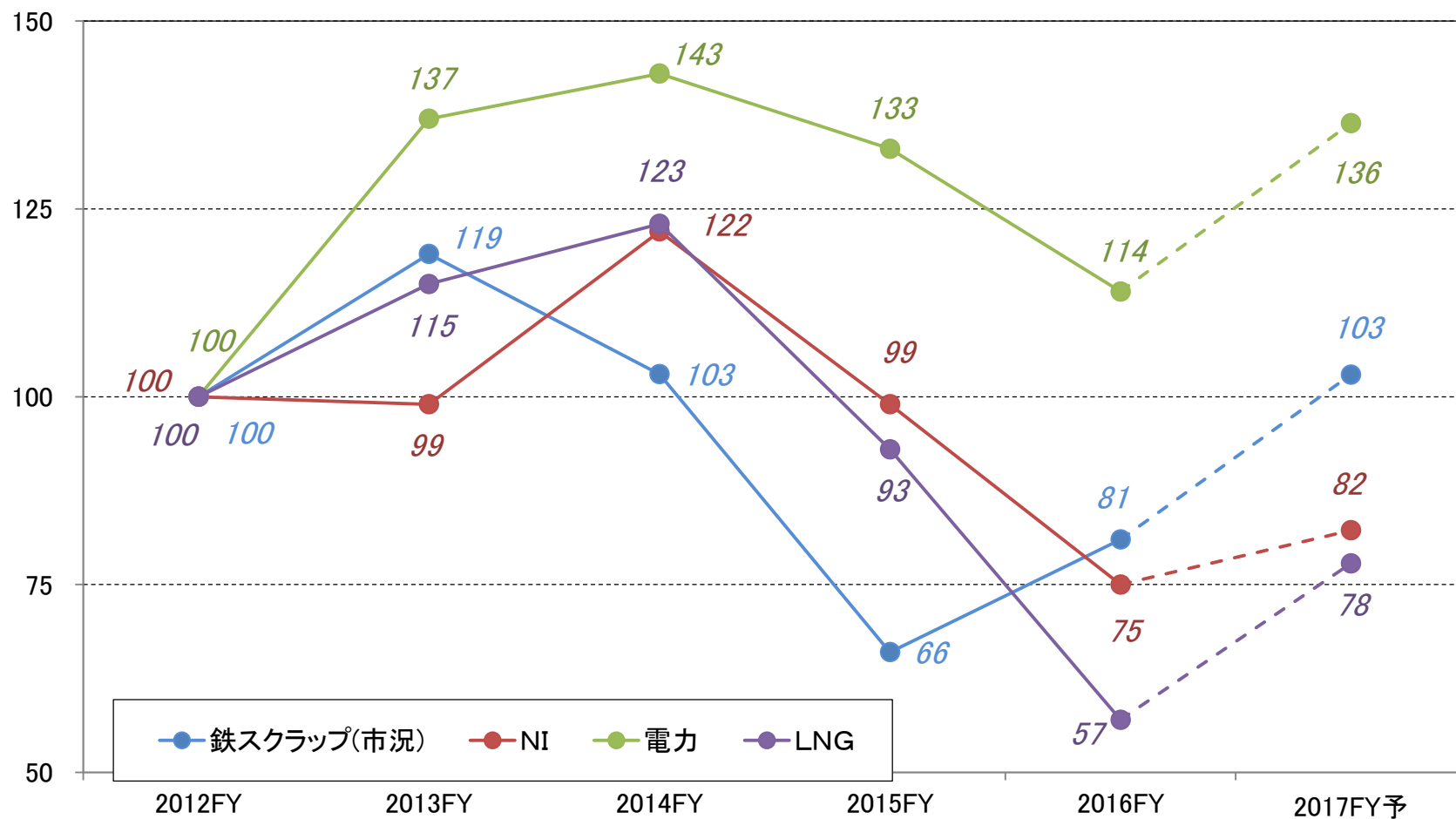


経常利益の変化要因



原燃料価格の推移

(2012FY を100とした指数表示)



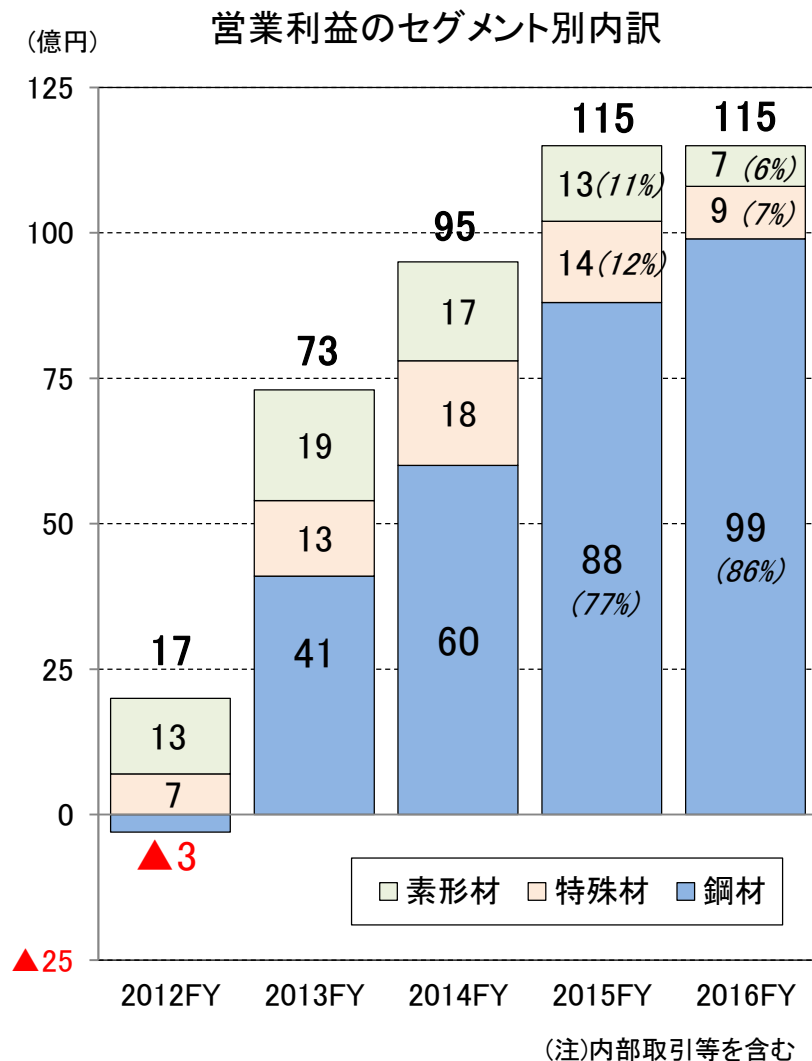
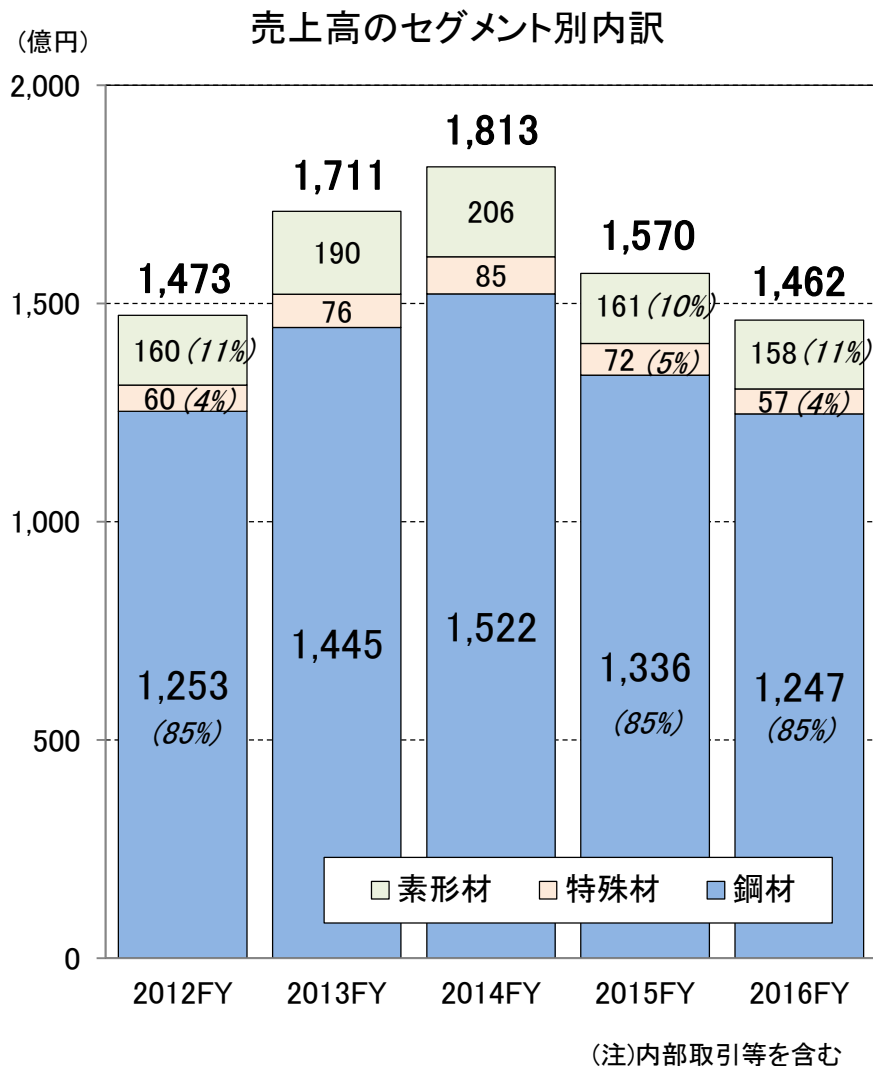
(注)購入価格ベース

セグメント別損益

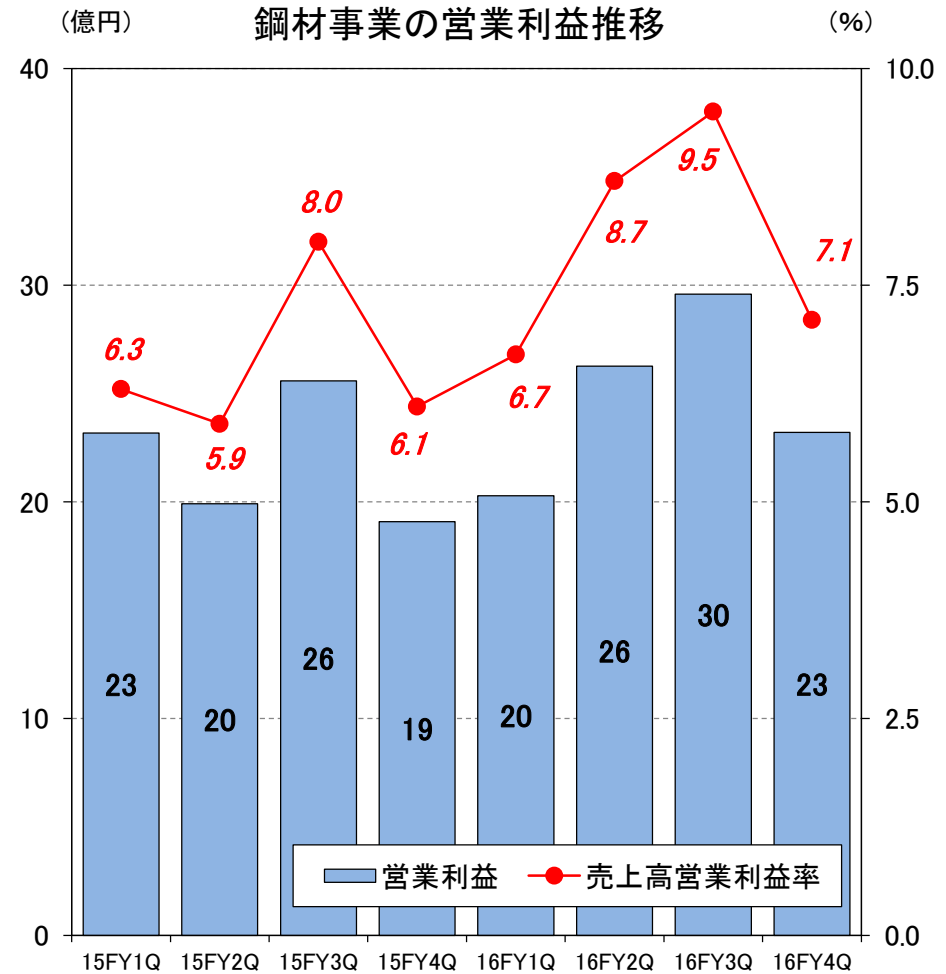
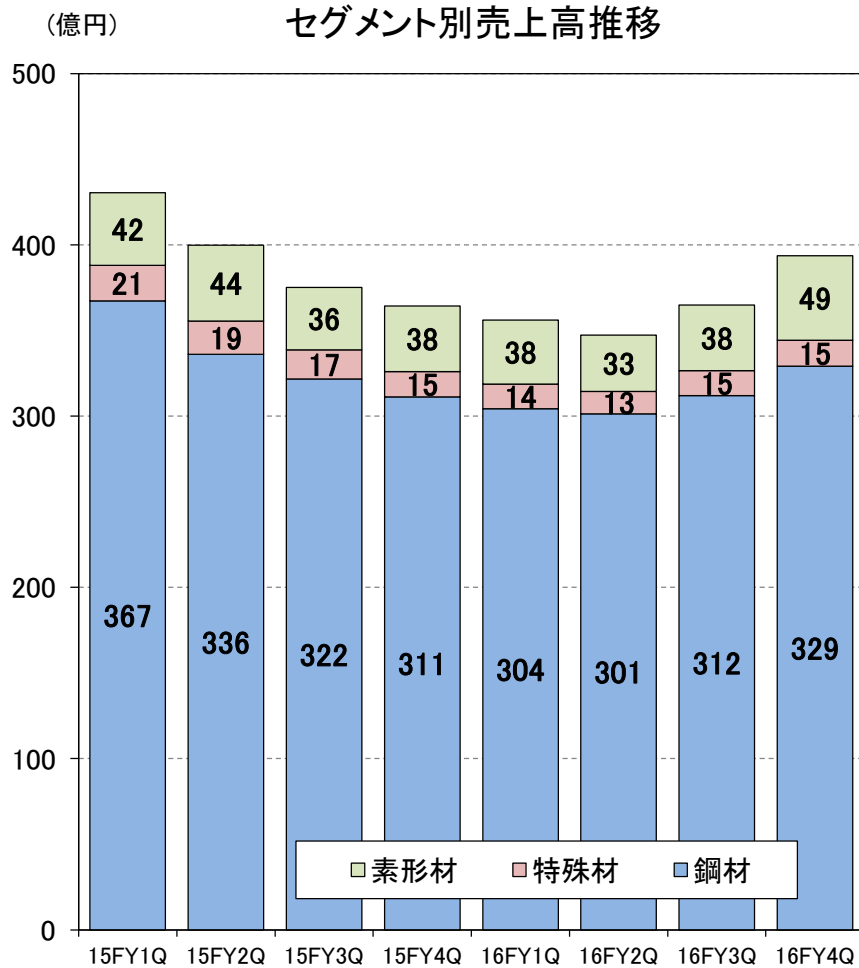
(単位:億円、%)

	2016FY(A)			2015FY(B)			対前年度(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率	売上高	営業利益	売上高 営業 利益率
鋼材	1,247	99	8.0	1,336	88	6.6	▲90	12	+1.4
特殊材	57	9	15.0	72	14	19.2	▲15	▲5	-4.2
素形材	158	7	4.7	161	13	8.0	▲4	▲5	-3.3
小計	1,462	115	7.9	1,570	115	7.3	▲108	1	+0.6
その他	17	1	3.4	17	1	3.5	▲0	▲0	-0.1
調整額	▲92	1	—	▲95	7	—	3	▲6	—
連結計	1,387	117	8.4	1,491	122	8.2	▲105	▲5	+0.2

セグメント別損益推移(年度)



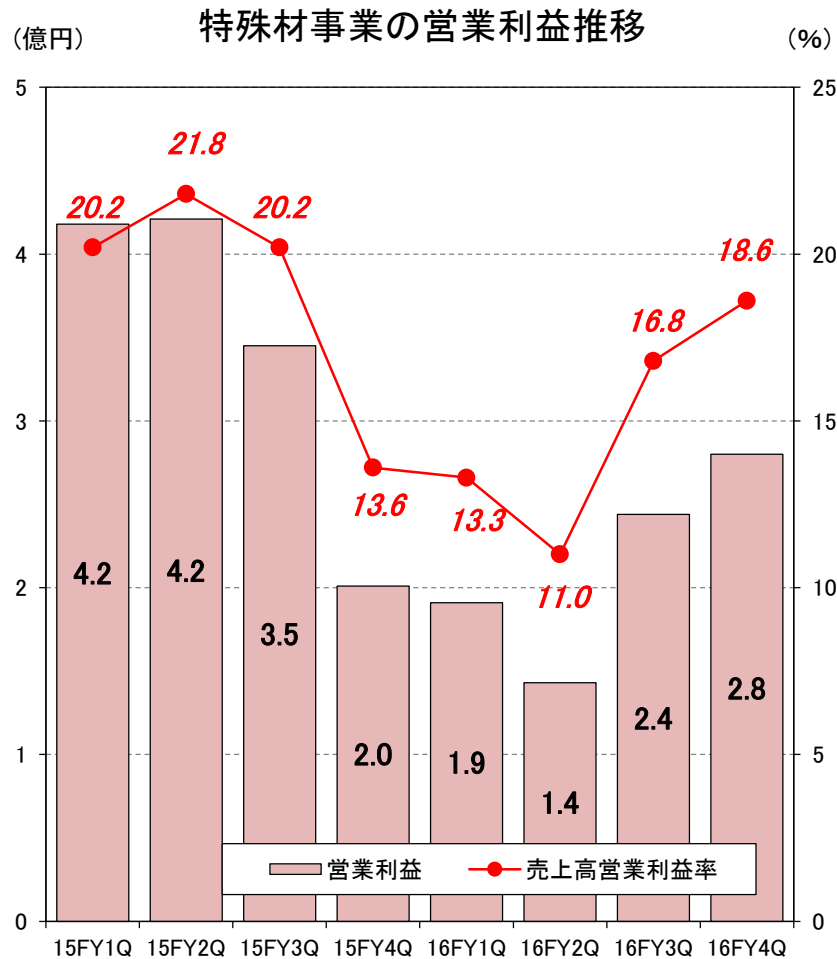
セグメント別損益推移(四半期)



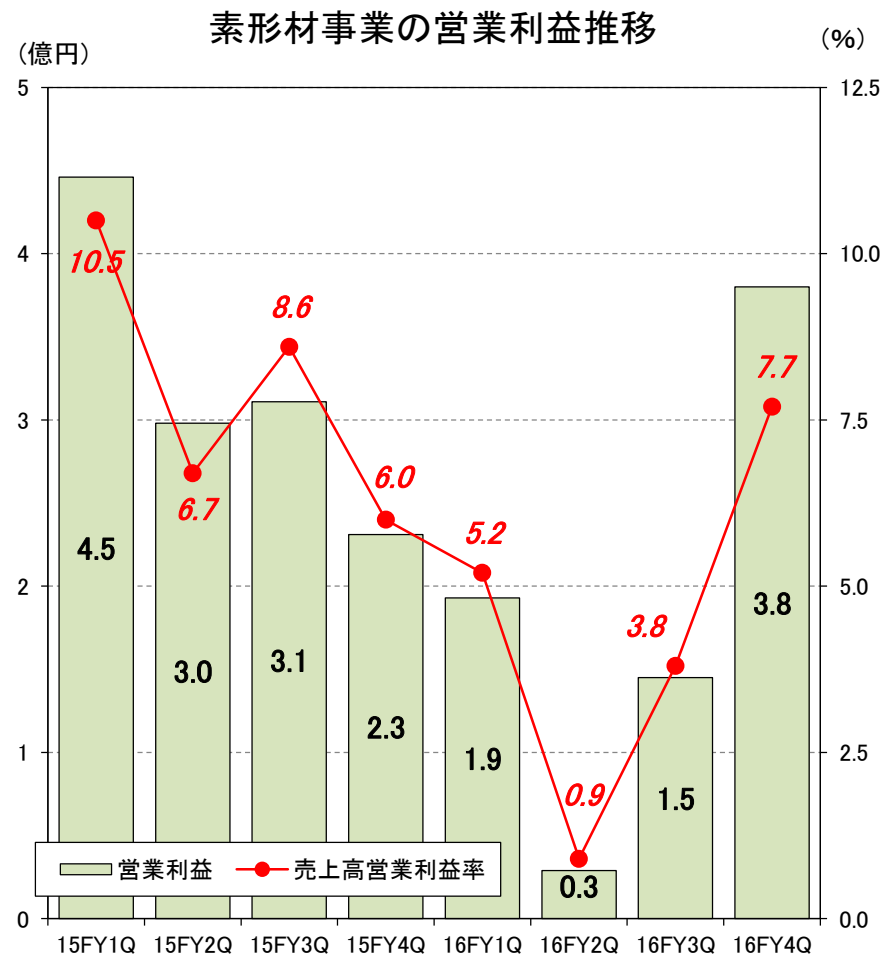
(注)内部取引等を含む

(注)内部取引等を含む

セグメント別損益推移(四半期)

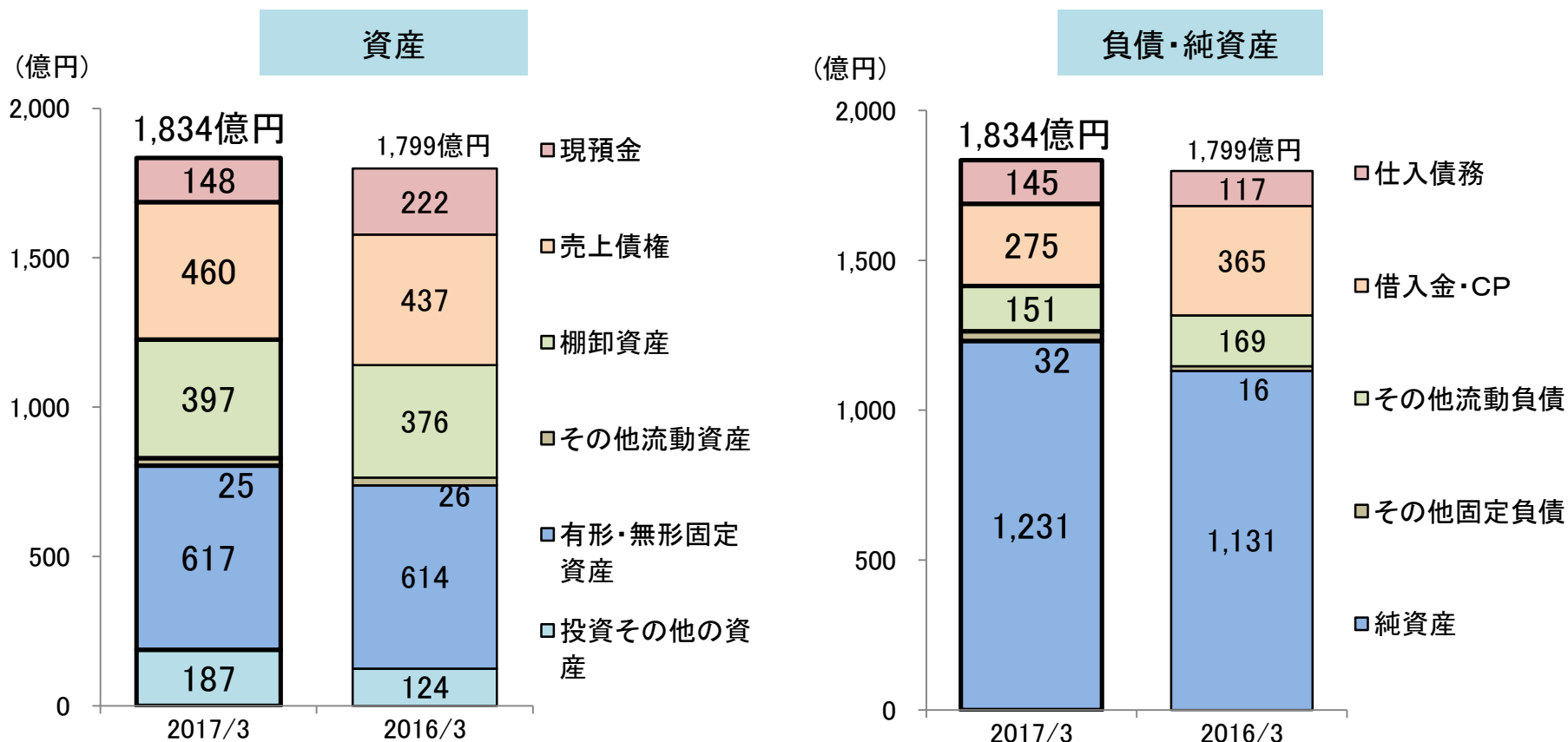


(注)内部取引等を含む



(注)内部取引等を含む

貸借対照表



資産の主な増減 +35億円

現預金	△73億円	借入の返済など
売上債権	+23億円	売上増の影響など
棚卸資産	+21億円	原燃料価格の上昇など
投資その他の資産	+63億円	株価上昇に伴う退職給付に係る資産、投資有価証券の増など

負債・純資産の主な増減 +35億円

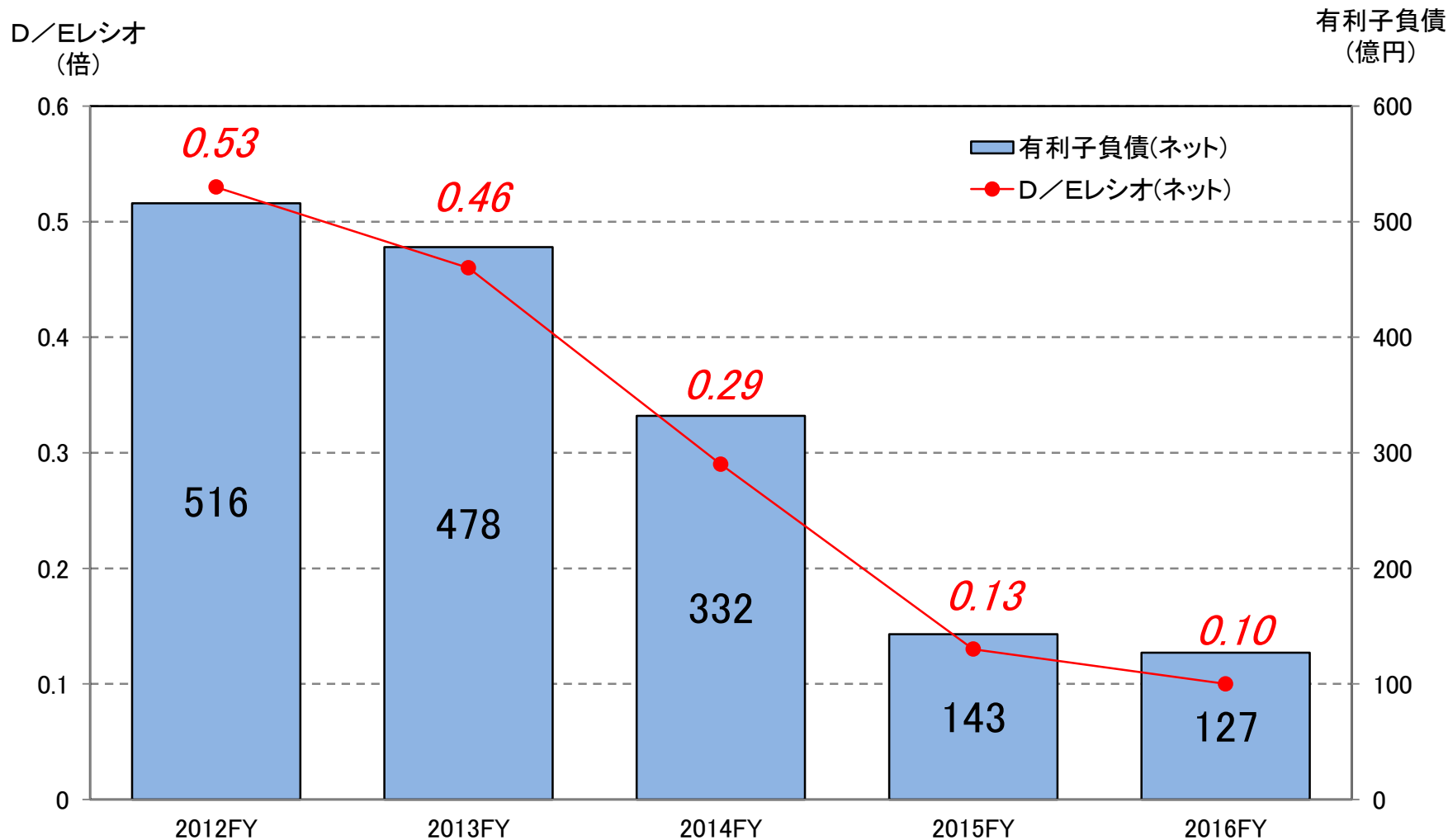
仕入債務	+28億円	原燃料価格の上昇など
借入金・CP	△90億円	返済による減など
純資産	+100億円	利益の計上による利益剰余金の増、株価上昇に伴うその他の包括利益累計額の増など

キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2014FY	2015FY	2016FY
営業活動によるC/F (A)	207	288	151
税金等調整前当期純利益	102	111	115
減価償却費	98	93	91
法人税等の支払または還付	△23	△48	△40
運転資金等	30	131	△15
投資活動によるC/F (B)	△59	△85	△111
設備支出	△71	△71	△107
その他	12	△14	△4
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	148	203	39
財務活動によるC/F (C)	△174	△188	△108
借入金・CPの増減	△166	△167	△90
自己株式の取得または売却	△0	△0	△0
配当金の支払	△8	△21	△18
換算差額 (D)	3	△2	△3
キャッシュ増減 (A+B+C+D)	△23	13	△71

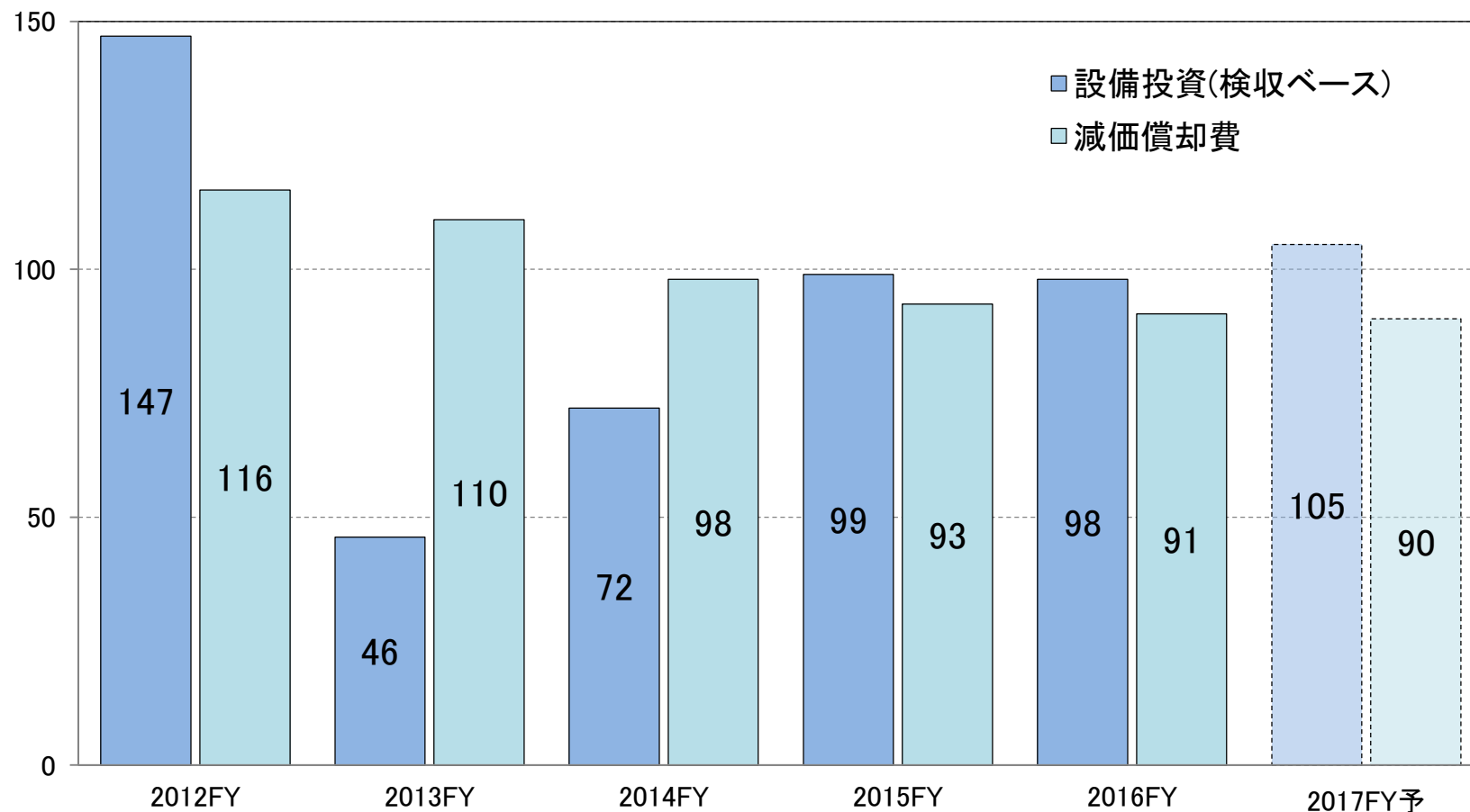
D/Eの推移



(注)第9次中期経営計画目標は、有利子負債(ネット) 350億円、D/Eレシオ(ネット) 0.30

(参考)設備投資・減価償却費の推移

(億円)



期末配当金について

	2016FY
当期純利益	78億円
1株当たり当期純利益	48.29円
1株当たり年間配当(A)	12.5円/株
【配当性向(年間)】	25.9%
中間配当実施額(B)	5円/株
期末配当実施額(A)-(B)(注)	7.5円/株

(注)効力発生日 2017年6月7日

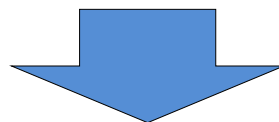
(参考)

	2015FY
当期純利益	74億円
1株当たり当期純利益	46.00円
1株当たり年間配当	12円 (中間6円、期末6円)
【配当性向(年間)】	26.1%

2016FYの年間配当(12.5円)は、2015FY(12円)に続き平成以降の最高額を更新

＜配当方針＞

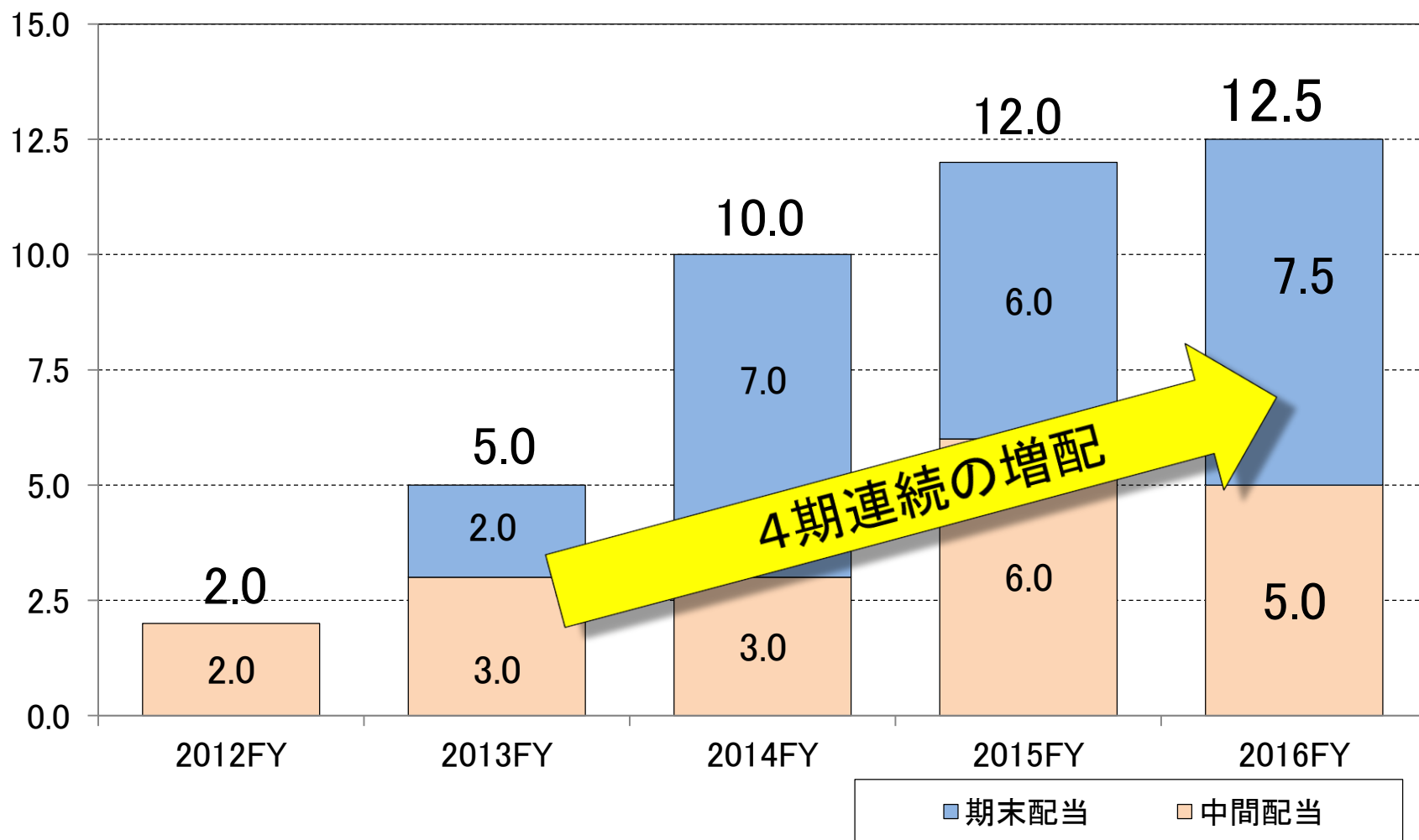
従来 連結配当性向 20～30%



2016年度末～ 連結配当性向 **25～30%**

配当推移

(円/株)



2017FY業績および配当予想

(単位:億円、%)

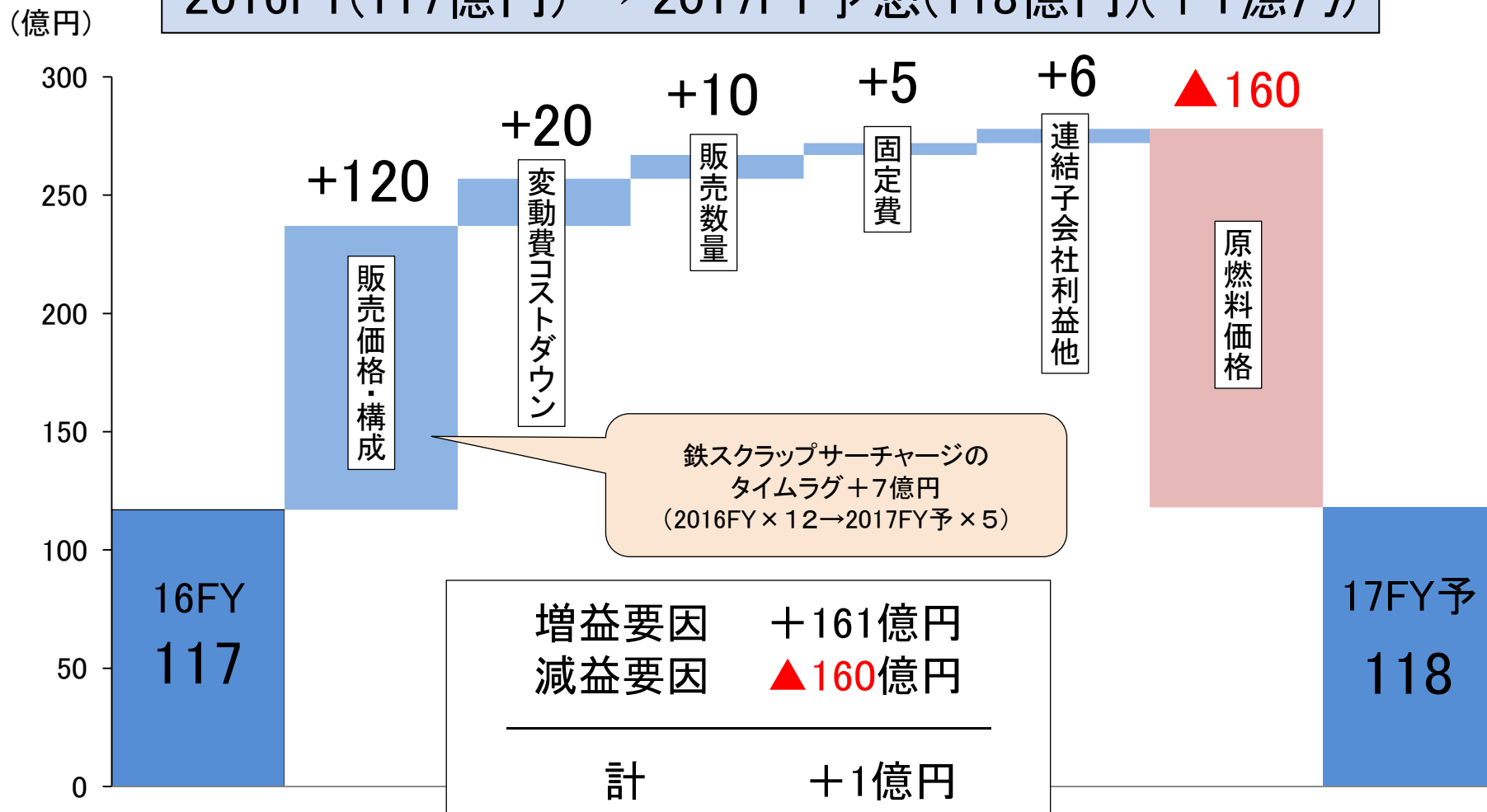
	17FY上期 (A)	17FY下期 (B)	2017FY通期 (C)=(A)+(B)		2016FY (D)		対2016FY (C)-(D)	
	金額	金額	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	増減率
売上高	750	750	1,500	100.0	1,387	100.0	113	8.2
営業利益	55	63	118	7.9	117	8.4	1	1.0
経常利益	55	63	118	ROS 7.9	117	ROS 8.5	1	0.5
当期純利益(注1)	36	42	78	5.2	78	5.6	0	0.2
配当(円/株)(注2)	6.0	32.5	—		12.5		—	
売上数量(千t/月)	87	86	86.5		84.4		2.1	

(注1)親会社株主に帰属する当期純利益

(注2)2017年10月1日の株式併合の効力発生を条件に、17FY上期は併合前、17FY下期は併合後(5株を1株)の株式を対象としている。
株式併合を踏まえ換算すると、17FY通期の配当は1株につき62.5円。

経常利益の変化要因

2016FY(117億円) → 2017FY予想(118億円)(+1億円)



財務指標の推移

		2012FY	2013FY	2014FY	2015FY	2016FY
ROE(自己資本当期純利益率)	%	0.5	4.1	6.1	6.6	6.6
ROS(売上高経常利益率)	%	1.2	4.2	5.7	7.7	8.5
ROA(総資産経常利益率)	%	0.8	3.4	4.8	6.0	6.5
自己資本比率	%	48.6	50.2	55.8	62.4	66.7
有利子負債(ネット)	億円	516	478	332	143	127
D/Eレシオ(ネット)(注)	倍	0.53	0.46	0.29	0.13	0.10
1株当たり当期純利益	円/株	3.2	25.2	40.6	46.0	48.3
1株当たり純資産	円/株	599	633	700	697	759
期末従業員数	人	2,829	2,775	2,706	2,625	2,598

(注) 有利子負債から返済に充当可能な現預金を差し引いた純有利子負債の、純資産に対する比率

その他のトピックス

(1)第63回(平成28年度)「大河内記念生産賞」を受賞

- ・2017年2月、当社は「超高清浄度軸受鋼の高生産性プロセスの開発」により大河内記念生産賞を受賞(平成9年度以来、約20年ぶり2度目)。
- ・軸受鋼は、長期間厳しい環境下で使用されるベアリングの素材として使用されるため、高い清浄度が求められる。
- ・当社製鋼工場では、溶解精錬—凝固プロセスにおいて、鋼中の非金属介在物を極限まで少なく、小さくする技術開発を行うことにより、高品質の軸受鋼を生産するとともに高い生産性を実現(2015年2月に100連々鑄世界記録更新)。
- ・主力工場である第二製鋼工場では、2017年2月に、生産開始(1982年10月)から累計粗鋼生産3,000万トンを達成した。



贈賞式の様子

※ 大河内賞

故大河内正敏博士の功績を記念して、大河内記念会が、わが国の生産工学、生産技術、生産システムの研究並びに実施等に関し、学術の進歩と産業の発展に大きく貢献した顕著な業績に対し表彰する、伝統と権威ある賞

その他のトピックス

(2)過共析鋼の高靱性化技術の開発に成功

- ・当社は、コマツならびに大阪大学との共同研究において、過共析鋼※の高靱性化技術の開発に成功(2017年2月ニュースリリース)。
- ・今回開発した新しい鋼材成分とそれに適した新しい熱処理技術によって、靱性を大幅に向上させることが可能となり、硬度と靱性バランスの向上を実現。
- ・この技術の実用化により、部品や金型の強度、耐衝撃性、耐摩耗性などの性能向上、部品の小型・軽量化による省エネ・排出ガス削減、レアメタル使用量の削減によるコスト低減などが期待される。

※ 過共析鋼

炭素を0.7%程度以上含有する鋼の総称。

焼入焼戻しを施すことで容易に高硬度かつ高い耐摩耗性を示すことから工具や軸受、機械構造部品等に多く使用されている。

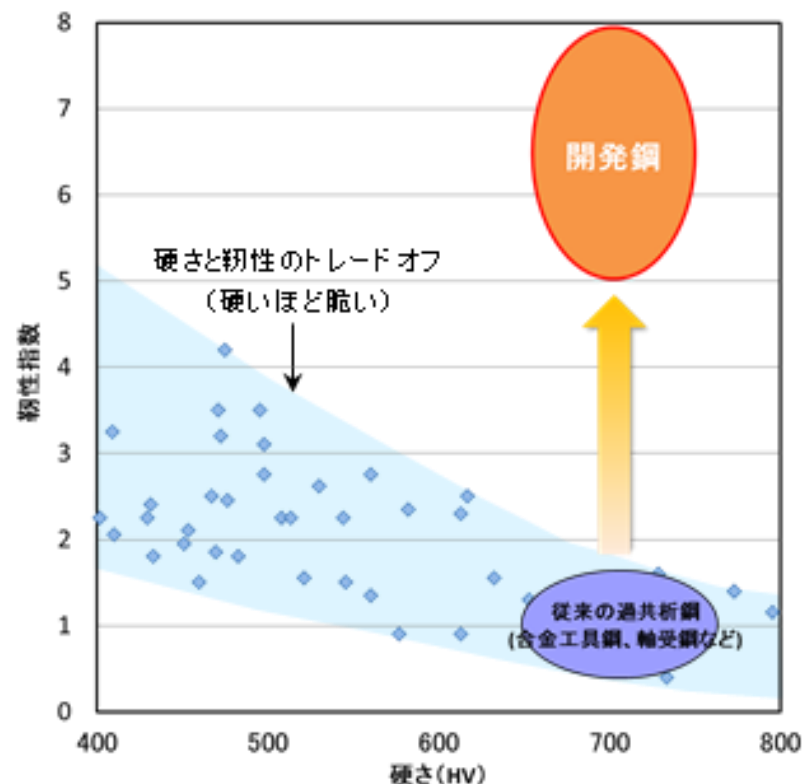


図 鋼材の硬さと靱性との関係

その他のトピックス

(3)メキシコ素形材子会社の進捗

2017年 夏の工場稼働開始に向けて計画通り進行中。

【会社概要】

- ・名称: Sanyo Special Steel Manufacturing de México, S.A. de C.V.
(サンヨー・スペシャル・スチール・マニュファクチャリング・デ・メキシコ)
- ・所在地: メキシコ合衆国
グアナフアト州アバソロ市
- ・事業内容: ベアリング用素形材の製造および販売
- ・資本金: 約50億円



<工場建設中の様子>

(4)第2粉末工場の進捗

2017年 夏の稼働開始に向けて計画通り進行中。

【工場概要】

- ・建設費用は20億円で現在稼働中の第1工場に隣接。
- ・3Dプリンター等による市場拡大と高純度化ニーズに対応。
- ・新市場創生に向けてクリーン度の高い工場を建設。



<工場建屋の様子>

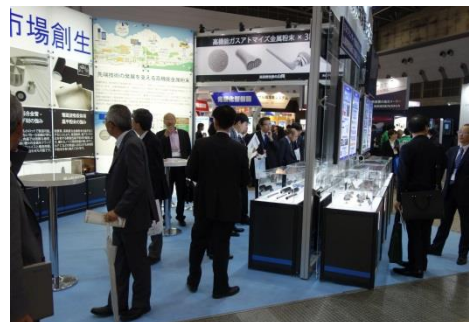
その他のトピックス

(5)高機能金属展へ出展

・2017年4月5日～7日に東京ビッグサイトにて開催。

・3Dプリンター用粉末や
高機能ガスアトマイズ粉末、ターゲット、
粉末ハイス、耐食・耐熱合金を展示。

・当社ブースには、過去最高の
約1,600人が来場。



(6)個人株主向け決算説明会・工場見学会を開催

・2017年3月に開催。

・当社事業への理解を深めていただく
ことを目的に2007年より毎年開催。

・約50名が参加し、第二製鋼工場や
第二棒線工場、5,000トンプレス工場
を見学。





“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)